

2008 年度

科目名 総合講座Ⅱ	対象学科・学年 文学部日文3 回生	担当者 浅尾 広良
授業テーマ 『源氏物語』夕顔巻を読む		
授業の概要と目標 前期は順番に『源氏物語』本文の輪読を行い、物語の読みの可能性を探る。校異および注釈を丹念に検討して問題点をあらい出す。同時代の文献はもちろん、前後の資料をできる限り調査し、本文をどのように解釈し得るのかを考察する。 後期は、前期の輪読を基礎として各自に研究発表を課す。発表は一人 30 分以内、400 字詰め原稿用紙 15 枚以上 25 枚以内とする。質疑応答で議論を深め、推敲した原稿を後期の末にレポートとして提出してもらう。 なお、個人指導をより効果的に行うために、オンラインを利用しての随時質問を受け付ける。		
評価方法 当該科目の成績は、前期の輪読（30%）、後期の研究発表（30%）、レポート（30%）、出席・授業への取り組み姿勢（10%）の4項目から総合的に評価する。		
テキスト 『源氏物語』古典セレクション1（桐壺・帚木・空蝉・夕顔）	著者 阿部秋生・秋山虔・ 今井源衛・鈴木日出男	出版社 小学館
参考書 授業時に適宜指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 オリエンテーション（授業の進め方、年間の計画、評価の方法等） 2 源氏物語の諸本、古注釈に関する基礎知識 3 輪読発表のサンプル（発表者 浅尾） 4 発表者個人指導① 5 発表者個人指導② 6 発表者個人指導③ 7 発表者個人指導④ 8 輪読1・2 発表・質疑応答・講評 9 輪読3・4 発表・質疑応答・講評 10 輪読5・6 発表・質疑応答・講評 11 輪読7・8 発表・質疑応答・講評 12 輪読9・10 発表・質疑応答・講評 13 輪読11・12 発表・質疑応答・講評 14 輪読13・14 発表・質疑応答・講評 15 輪読15 発表・質疑応答・講評 前期のまとめ 16 研究発表の仕方、まとめ方ガイダンス 17 研究発表サンプル（発表者 浅尾） 18 研究発表個人指導① 19 研究発表個人指導② 20 研究発表個人指導③ 21 研究発表個人指導④ 22 研究発表1（担当1、2）発表・質疑応答・講評 23 研究発表2（担当3、4）発表・質疑応答・講評 24 研究発表3（担当5、6）発表・質疑応答・講評 25 研究発表4（担当7、8）発表・質疑応答・講評 26 研究発表5（担当9、10）発表・質疑応答・講評 27 研究発表6（担当11、12）発表・質疑応答・講評 28 研究発表7（担当13、14）発表・質疑応答・講評 29 研究発表7（担当15、）発表・質疑応答・講評 30 後期研究発表のまとめ・演習Ⅱ履修のためのガイダンス		